

製品名: c-Kit ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87411

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:110 kDa; Observed MW:120-145 kDa

抗原情報

遺伝子名	c-Kit
別名	PBT; SCFR; C-Kit; CD117; MASTC
遺伝子 ID	3815
SwissProt ID	P10721
免疫原	ヒト c-Kit の組み換えタンパク質

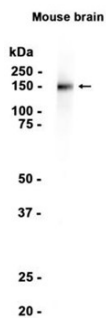
背景

この遺伝子は受容体チロシンキナーゼをコードしています。この遺伝子は当初、ネコ肉腫ウイルスの癌遺伝子 v-kit のホモログとして

同定され、しばしばプロトオンコゲン c-Kit と呼ばれています。この糖鎖膜貫通タンパク質の標準的な形態は、5つの免疫グロブリン様ドメインを含む N 末端細胞外領域、膜貫通領域、および C 末端の細胞内チロシンキナーゼドメインを有しています。このタンパク質は、サイトカインリガンドである幹細胞因子 (SCF) によって活性化されると、多くの細胞型の増殖、分化、遊走、アポトーシスに関与する複数の細胞内タンパク質をリン酸化します。これにより、造血、幹細胞の維持、配偶子形成、メラニン形成、および肥満細胞の発達、遊走、機能において重要な役割を果たします。このタンパク質は膜結合型または可溶性タンパク質です。この遺伝子の変異は、消化管間質腫瘍、肥満細胞症、急性骨髄性白血病、およびまだら症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2020 年 5 月]

研究分野

画像データ



c-Kit ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。